1　国語

学校番号	318

令和3年度　国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「現代文B改訂版」下巻(大修館書店)						
副教材等	「改訂版入試頻出漢字・現代文重要単語 TOP2500」(いいずな書店) 「現代文長文記述問題集　入試必修編」(いいずな書店) 「共通テスト対策実力養成　重要問題演習　現代文」(ベネッセ) 「共通テスト対策実力養成　基礎問題集中演習」(ベネッセ) 「改訂増補版最新国語便覧」(浜島書店)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

現代文は、言語活動を通して、思考力・判断力などの「論理力」、豊かな感性や多角的な洞察力、「論理」から跳躍する創造力や柔軟性、そしてそれらを総合的に発揮する表現力を身につけることを目的とした科目です。学習にあたっては論理的文章・文学的文章のいずれにおいても文章を客観的・批判的に考察すること。その際、論理的文章ではその論理展開を把握し、文学的文章では特徴的な叙述(出来事・行動)から登場人物の内面やその背景をとらえられるようにすること。また、漢字や言葉の意味などを積極的に調べ、語彙を増やせるよう努めることを心がけてください。本年度は入試に対応した学習として、表やグラフの読み取りなども授業に組み込んでいく予定です。問いに対応した答えが書けるよう、実践的に練習していきましょう。

2　学習の到達目標

①　適切な言語感覚を磨き論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
②　目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
③　互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間	評論	文明と文化の教育	◎	○		◎	○	a:文明と文化の、人間との関係について、積極的に考えようとしている。 b:本文中の表現について気づいたことを自分の意見としてわかりやすく話している。 d:文章の構成を理解し、論理の展開を把握している。 e:世界の古代文明について、大まかな知識がある。	a、b、e 観察(発言・発表) a、d ノート(要約・メモ等) d、e 定期考査・小テスト
	評論	生物多様性の恩恵	○	◎		○	○	a:自然科学の新しいあり方を示す文章に興味関心をもっている。 b:「虫愛ずる姫君」と本文を比較して気づいたことを、効果的に話し合っている。 d:生命誌の立場を理解しつつ、「虫愛づる姫君」の人物像を把握している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字の知識を増やしている。	a、b、e 観察(発言・発表) a、d ノート(要約・メモ等) d、e 定期考査・小テスト
	小説	檸檬	◎		◎	○	○	a:作品に描かれた美的世界を味わい、作者の繊細な感性をとらえようとしている。 c:作品を読んで考えたことを、わかりやすく文章にまとめている。 d:檸檬を手に入れたことで「私」の気持ちがどのように変化したかをとらえている。 e:語句の意味を注や辞書を手がかりにして理解している。	a、e 観察(発言・発表) a、d ノート(要約・メモ等) d、e 定期考査・小テスト c 自己評価・相互評価
前期期末	評論	風景はどのように立ち現れるか	○	○		◎	○	a:教材に興味をもち、論理的な文章を読み解くことに意欲的に取り組んでいる。 b:見近な風景のスケッチや写真などについて、自分の考えを明確にして発表している。 d:「見分けの風景」「言分けの風景」それぞれについて筆者の考えを理解している。 e:風景について考えることが、文学・美術・建築等、他の分野にまで関連することを理解している。	a、b、e 観察(発言・発表) a、d ノート(要約・メモ等) d、e 定期考査・小テスト

	評論	陰翳礼讃	○			◎	○	a:教材に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 d:「闇」と漆器の関係について、叙述に即して理解している。 d:「漆器」と「陶器」の相違がどのように述べられているか、把握している。 e: 文中に使われているなじみのない語句について、注や辞書を手がかりにして理解している。	a、e 観察（発言・発表） a、d ノート（要約・メモ等） d、e 定期考査・小テスト
	小説	赤い繭	○	◎	◎	○		a:虚構なるがゆえのおもしろさや批評性に気づき、積極的に感想を交流しようとしている。 b:作品を読んで考えたことについて、自分の意見を明確にして積極的に話し合っている。 c:作品の結び方について、自分なりの考えをもち、内容をよく把握した上で、自分の考えをまとめている。 d:場面の展開に即して、主人公の心の移り変わりをとらえている。	a、b 観察（発言・発表） a、d ノート（要約・メモ等） d 定期考査・小テスト c 自己評価・相互評価
後期中間	評論	猫は後悔するか	○		○	◎	○	a:言語哲学に関する内容の文章に興味をもって内容を理解しようとしている。 c:筆者の主張がどのようになされているかを理解し、文章にまとめている。 d:「論理空間」と「分節化された世界」との関係がどのようなものか、記述に沿って把握している。 e:ウィトゲンシュタインについて、大まかな知識がある。	a、e 観察（発言・発表） a、d ノート（要約・メモ等） d、e 定期考査・小テスト c 自己評価・相互評価
	問題演習	共通テスト過去問演習指導	○		○	◎	○	a:読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。 c:筆者の意図や主張を把握しながら、本文の内容を要約する力を身につける。 d: 筆者の意図や主張を把握しながら文章を読む。 e:文章の構成の仕方を理解する。	a、e 観察（発言・発表） a、d ノート（要約・メモ等） d、e 定期考査・小テスト c 自己評価・相互評価

後期期末	問題演習	共通テスト過去問演習指導 個別試験の演習指導 記述式論文の解法指導	○		○	◎	○	a: 読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。 c:問いに対して適切に答えられる力を身につける。 d: 筆者の意図や主張を把握しながら文章を読む。 e:文章の構成の仕方を理解する。	a、e 観察(発言・発表) a、d ノート(要約・メモ等) d、e 定期考査・小テスト c 自己評価・相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　c ：書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。